

第31回まちcomiリサーチ 『ご家庭での節約について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『ご家庭での節約について』のアンケートを実施いたしました。

<調査概要>

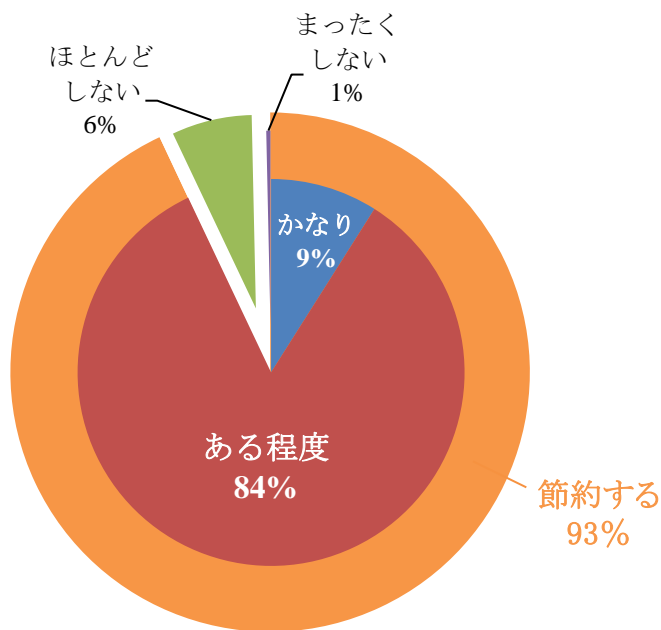
調査期間	2011年6月16日(木)～2011年6月19日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	602,775名(2011年6月16日現在)
有効回答数	31,700件(5.3%)
寄付金額	今回31,700円 寄付先：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン

<質問項目>

1	普段、どのくらい「節約」を意識されていますか?
2	節約の理由を教えてください。
3	何に力を入れて節約していますか?(いくつでも)
4	節約をする時に心がけていることはなんですか?
5	節約をする時に重視するポイントはなんですか?(いくつでも)
6	お子さまと一緒に取り組んでいる節約術があれば教えてください。
7	あなたの年齢を教えてください。
8	あなたの性別をお答えください。
9	あなたの職業を教えてください。
10	あなたのお住まいの地域をお答えください。

質問1: 普段、どのくらい「節約」を意識されていますか?

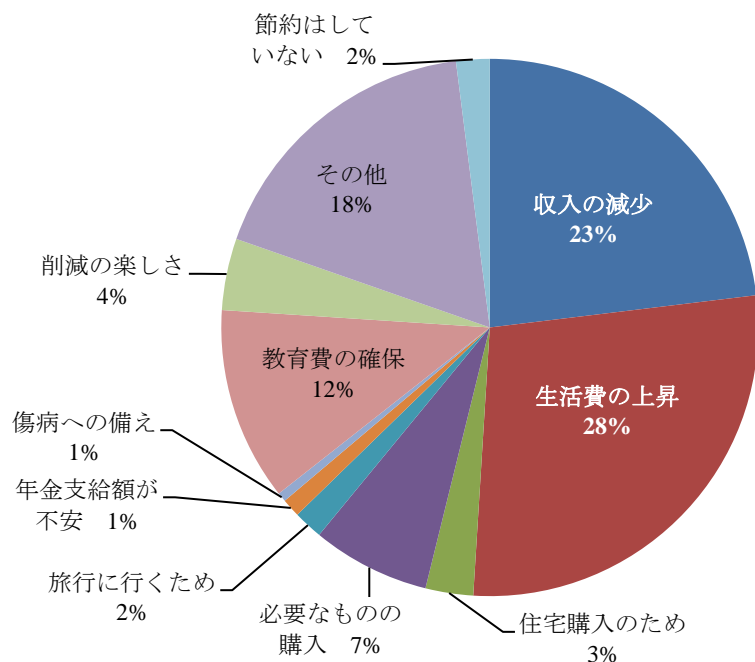
— 9割以上の方が節約を意識していると回答。



9割以上の方が、節約を意識している結果になりました。要因としては記憶に新しい家電製品などの「エコポイント」や先の震災による節電要請など、節約を例年以上に意識しているのが分かります。

質問2: 節約の理由を教えてください。

— 過半数の方が「収入の減少」・「生活費の上昇」と回答。

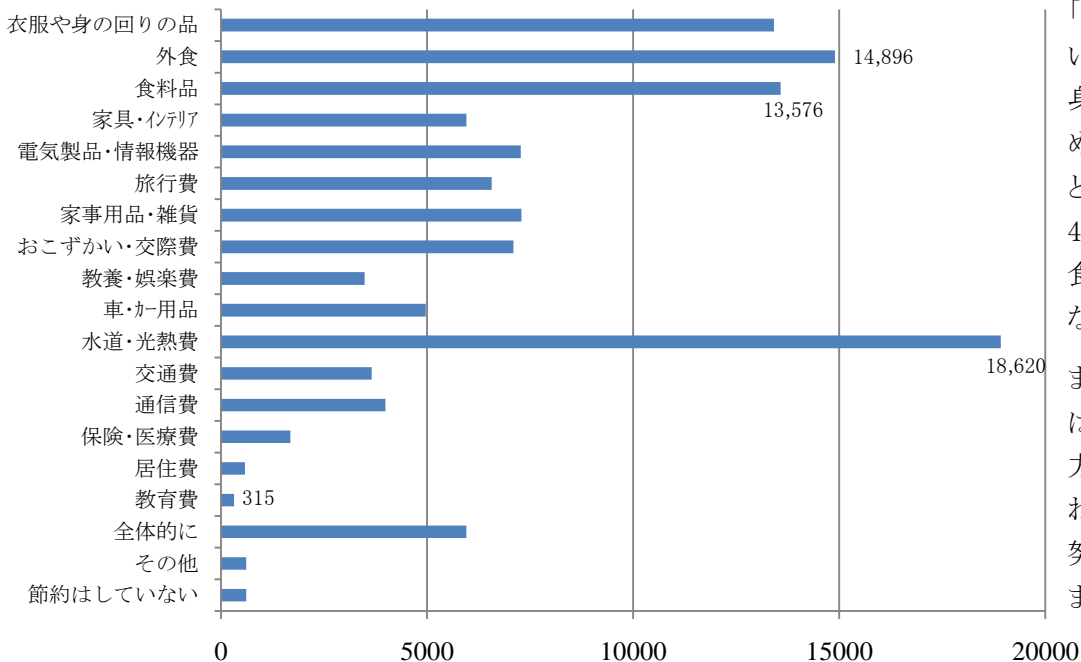


「収入の減少」と回答した方が23%、「生活費の上昇」と回答した方が28%と、家計に関する理由を挙げた方が、過半数を占める結果になりました。

「雇用不安」や「物価上昇」など生活をとりまく不安定な社会情勢を反映し、生活防衛意識が非常に高まっていると思われる。

質問3:何に力を入れて節約していますか?(いくつでも)

— 全体の約6割の方が「水道・光熱費」と回答。

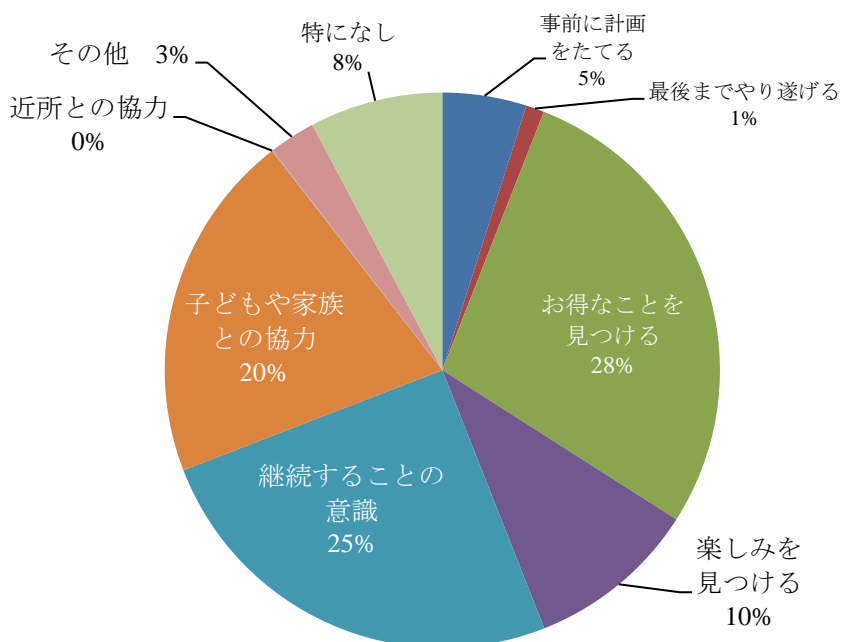


「水道・光熱費」に力を入れて
いる方が約60%となり、一番
身近で、毎日コツコツと取り組
めることが要因となっているか
と思われます。次いで外食が
47%、食料品が43%となり、
食費も重要な削減ポイントと
なっているようです。

また、最も節約されない項目
は「教育費」となり、保護者の
方は、前項での節約理由とあ
わせて、「教育費の確保」に
努められていることがうかがえ
ます。

質問4:節約をする時に心がけていることはなんですか?

— 約4割の人が、楽しんで節約することを意識。

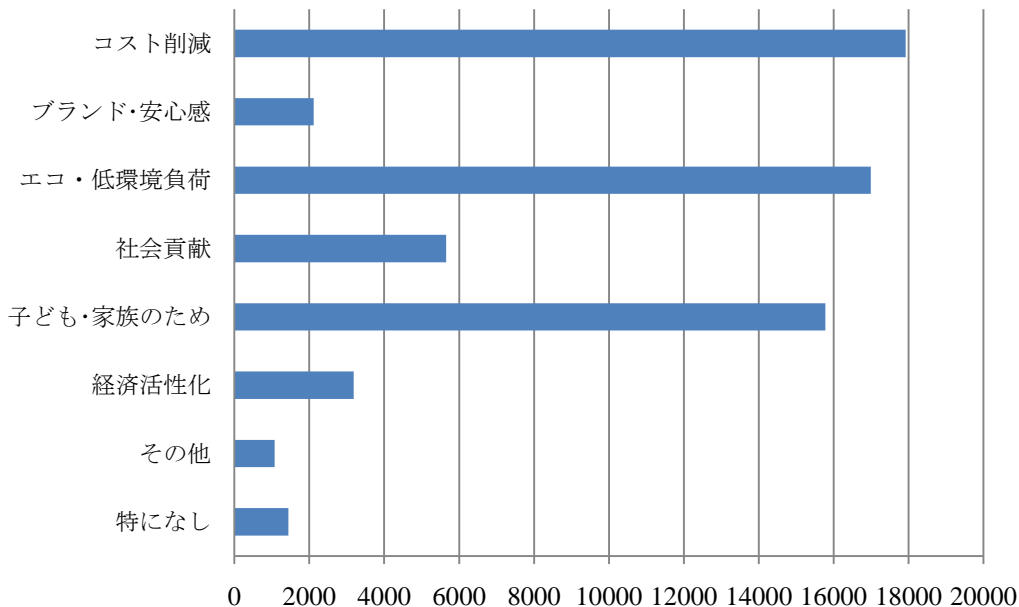


「お得なことを見つける」、「楽し
みを見つける」といった、節約エン
ジョイ派が38%となりました。
また、「継続することの意識」を
持たれる方が25%、「子どもや
家族との協力」を必要としている
方が20%と、長く続ける必要
性を認識している方が多くいるこ
とが分かります。

我慢・辛いという生活ではなく、
みんなで、明るく楽しく、長く続
ける節約を意識されている方が
多いようです。

質問5:節約をする時に重視するポイントは何ですか?(いくつでも)

— 約3割の方が、コスト削減と回答。



約28%の方が「コスト削減」と回答され、結果を一番に求めていることが分かります。

なかでも、「エコ・低環境負荷」と回答された方が26%で、家電や自動車・雑貨などエコをうたう商品が増えてきていることが要因と思われます。

また、「子ども・家族のため」が25%となり、家計を維持しつつもお子さまの将来を案じている保護者の方々が浮かび上がってきます。

質問6:お子さまと一緒に取り組んでいる節約術があれば教えてください。(自由回答)

多くのご意見をお寄せ戴きました。※以下、一部抜粋したものをご紹介します。※回答数:15,928件

<総評>

生活習慣の見直し、改善や、水道・光熱費の削減について非常に多くのコメントをいただきました。お子さまを節約大臣に任命したり、無駄を見つけるゲームをしたり、楽しく、長く続くように取り組まれている方々が多いようです。逆に、手を抜いて、子どもたちに叱られてしまうお母様達もいらっしゃるようです。

入浴を一緒にしたり、リビングに集まるようにしたりして、水道・光熱費を減らしながらも、家族団らんの時間が増えコミュニケーションがとれるようになったという効果も。家庭菜園やお菓子を一緒に作ったり、一緒に歩いたり、早寝早起きをしたり、お子さまとの時間を大切にし、節約や省エネに取り組んでいるようです。

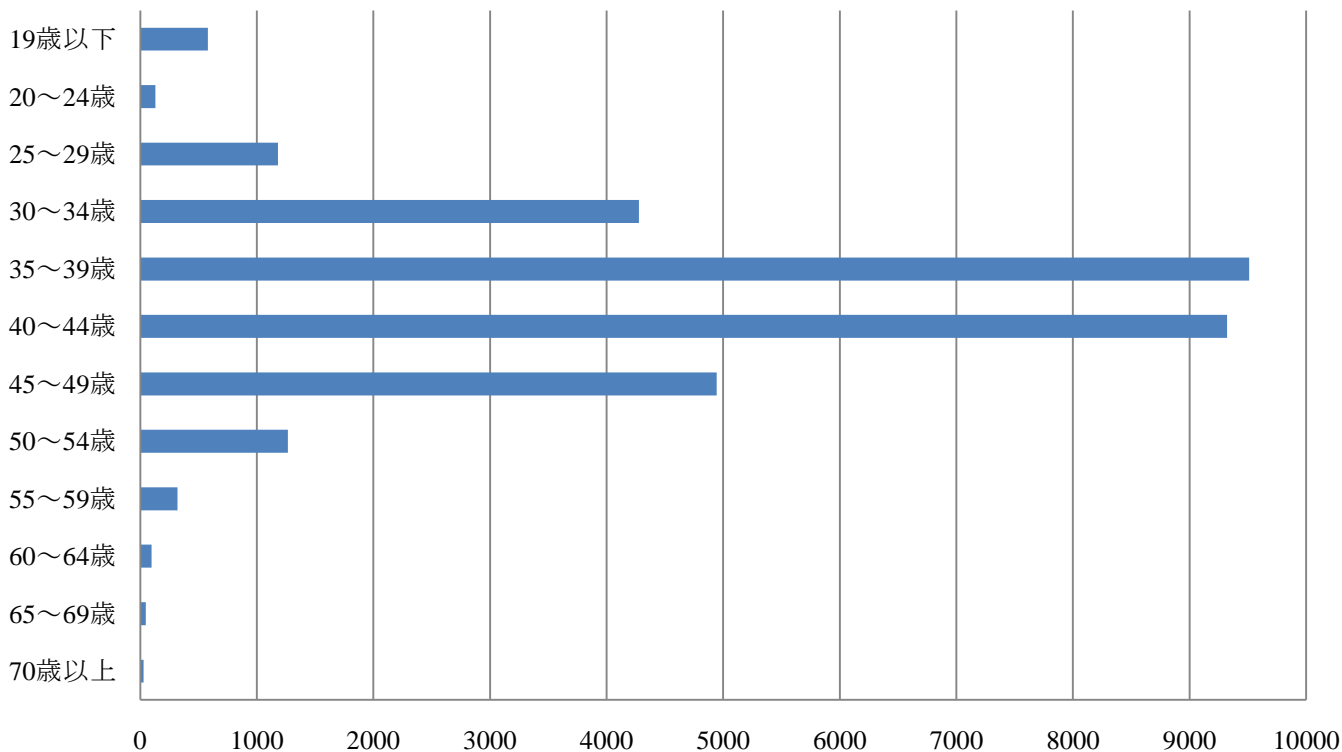
お金や物や感謝の気持ちの大切さや、食育など教育しながら、ポジティブな節約生活を過ごされている方が多いようです。

<いただいた回答>

- お風呂のお湯は少なめにして家族で一緒に入れば節水できるし、コミュニケーションもとれる。ガス代は半分になった。
- リビングで皆が過ごし電気の節約を心掛けています。そのおかげもあり、家族で楽しむ時間が長くなっています。
- 子供と、あさがお・風船かずら・ゴーヤを育てて緑のカーテンを作り、節電してます。収穫した実は食育にもなります。
- “我慢”だと続かないので楽しめるように、進んで節約できたらお小遣い+アルファとか、おやつがちょっとだけ豪華とか、小さいご褒美制にしています。
- おやつはこれだけ！今日は買いません！なんて我慢ばかりはストレスになるので、手作りを一緒にしたりして楽しくおいしくおやつ食べてます。
- 震災以降、こどもも積極的に節水、節電に協力するようになった。子供のほうが熱心です。
- 生ゴミを肥料にして家庭で野菜作りです！ちゃんとやらないと子供達に叱られます！
- 限りある資源の大切さを伝え、節約は心の豊かさに繋がることをまず伝えていきます。子供が自ら気付くこと、意識することを第一に感謝の気持ちを育てるようにしています。
- 物を大切に使う。壊れたら、直して使う。食べ物には、感謝して残さず食べる。節約とケチの違いをきちんと教える。
- 子供に節約大臣になってねと任命したらコンセント、電源、電気をきちんと消すようになりました。子供が進んでするようにもっていきました。今現在もきちんと大臣の仕事をしてれています。
- 寝る前に、「電気の無駄を多く見つけた方が勝ち」という遊びをしています。電気の有り難さを理屈で言っても子供が理解できるのは半分がいいとこなので、楽しさを取り入れつつ、電源を消す癖をつけていこうと取り組んでいます。
- 交通機関や車を使わず長めの距離もお話ししながら楽しくウォーキングしてます。
- 出かける時は出来るだけお弁当持参し、子供も一緒に作ったりして準備する。
- 見たいテレビの予定を立てて、こまめに切る。その分会話がふえたり、家族でゲームすることが増えた。
- 子どもと一緒に早く寝るようになったら、朝起きる時間が早くなり、朝の準備に余裕ができた。
- 電気は“消す”もの(=ついていることが当たり前)、と言う意識ではなく、電気は“付ける”もの(=消えていることが当たり前)、と言う意識改革を、親子で心掛けています。
- キャベツは芯も刻んで食べる・野菜の皮は取っておいてかき揚げなどにして食事の一品にするなど、節約レシピの開発。

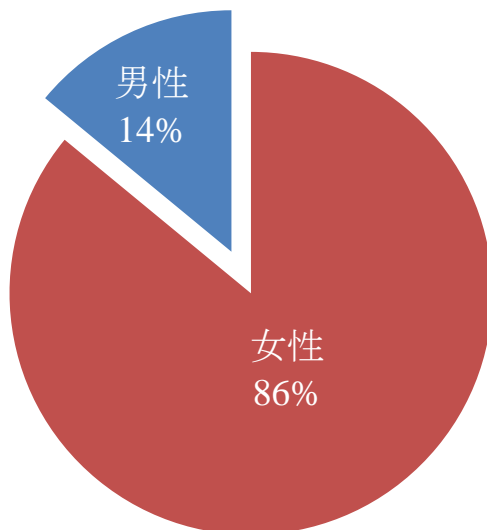
質問7:あなたの年齢を教えてください。

30代・40代の方が約9割と、子育て真っ最中の方にご回答いただきました。



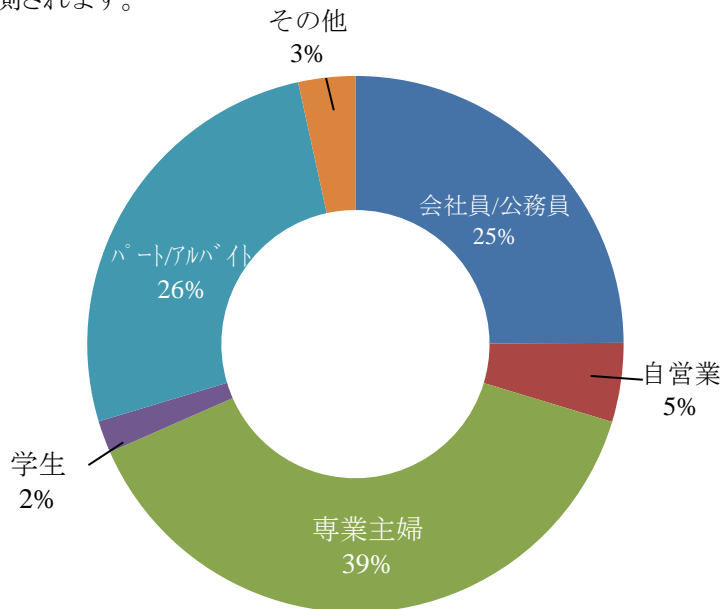
質問8:あなたの性別をお答えください。

女性の保護者様が約86%と圧倒的に多く、主にお母様方にご回答いただきました。



質問9:あなたの職業を教えてください。

会社員やパートなど働きに出ている方が56%となり、前項より女性の回答者が86%を占めていることから、共働きのご家庭が多いと推測されます。



質問10:あなたのお住まいの地域をお答えください。

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	282	石川県	92	岡山県	3
青森県	369	福井県	13	広島県	203
岩手県	525	山梨県	109	山口県	347
宮城県	941	長野県	40	徳島県	288
秋田県	43	岐阜県	252	香川県	47
山形県	26	静岡県	1332	愛媛県	412
福島県	540	愛知県	1088	高知県	4
茨城県	1631	三重県	1099	福岡県	137
栃木県	157	滋賀県	336	佐賀県	440
群馬県	2	京都府	112	長崎県	30
埼玉県	1921	大阪府	638	熊本県	71
千葉県	5887	兵庫県	229	大分県	3
東京都	2375	奈良県	306	宮崎県	358
神奈川県	8212	和歌山県	2	鹿児島県	194
新潟県	124	鳥取県	445	沖縄県	5
富山県	13	島根県	17		

～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第31回リサーチはご回答いただいた人数×1円をまちcomiから「[公益法人 セーブ・ザ・チルドレン](#)」へ寄付します。

「東北地方太平洋沖地震」で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

今回は、被災した子どもたちやその家族、そして地域の被災者に対して、緊急支援を実施することを決定し、世界中のセーブ・ザ・チルドレンと協力して活動を展開しているセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ微力ながら、ご支援させていただきます。

- 今回の寄付額: 31,700円
- 今回までの合計額: 462,458円
- 今回の寄付先: [公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン